

シンポジウムSY2-3 日本高気圧環境・潜水医学会技術部会によるHBO技師認定制度のあり方

灘吉進也

日本高気圧環境・潜水医学会技術部会副会長
社会医療法人共愛会戸畑共立病院臨床工学科

【背景】

日本高気圧環境・潜水医学会（JSHUM）認定の高気圧酸素治療専門技師（以下HBO専門技師）は、HBOの技術水準の進歩と安全性の向上を図ることを目的とし、この目的を達成するために認定および研修制度が設けられている。毎年30名前後が受験しており、合格率は毎年80%前後で推移している。2022年4月時点で266名が取得し（図1）、その内訳は臨床工学技士9割、看護師1割と報告されている。

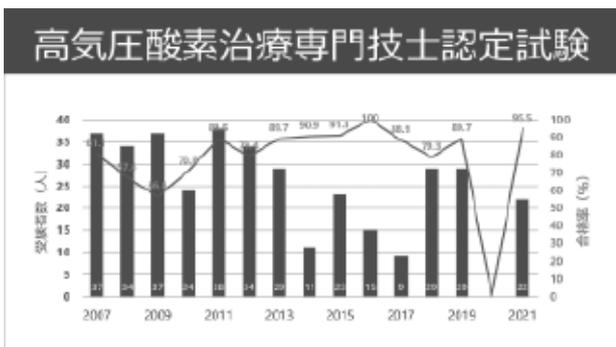


図1

【内容】

我々は、第54回学術総会（東京：和田孝次郎大会長）において「学術団体などによる専門技師認定制度のあり方」と題し、合同技術部会ワークショップを開催した。各団体の識者が認定制度の役割や相違を明らかとしたが、取得レベルの不均等といった問題点への対応や将来的に各団体が補完するなどの結論には至らなかった。厚生労働省の示す社内検定認定制度の一説に認定制度とは、自己研鑽の成果を認証したものであり、技能の見える化・標準化、モチベーション向上、知識・技能・技術向上、ブランド力向上などがメリットとして解釈されている。一方、米国のHBO関連の認定資格についてNational Board of Diving & Hyperbaric Technologyでは、認定高気圧技術者

(CHT)、高気圧認定看護師(CHRN)が設けられている。CHRNは、更にACHRN(上級高気圧認定看護師)、CHRNC(臨床高気圧認定看護師)、CHRN-ADM(管理高気圧認定看護師)にキャリアアップすることができる。

【考察】

HBO関連の認定資格は、現在3種類存在するが、各資格は目的が異なるため取得難易度が異なる。このことについて、それぞれの団体が連携または補完できていないことが課題とされ、技術部会として、各団体がコラボレーションすることを模索していく必要がある。また、更新制度のみではモチベーションの維持が難しいことから、認定制度の魅力を上向きさせることを検討しなければならない。一つの例として認定技師、専門技師、上級専門技士（図2）というような棲み分けを行い、更に修士/博士および、その他の実績を考慮した認定制度の樹立を期待したい。制度が異なるため、米国と比較することは不適切かもしれないが、認定制度に求められる要件、すなわち魅力的なキャリアアップできる仕組み作りは、これからのHBO発展のために重要なことと示唆された。

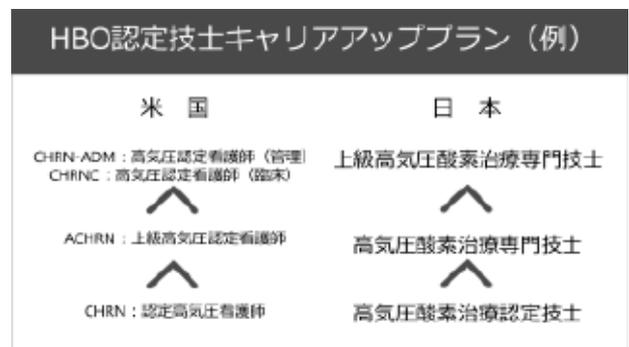


図2

【結語】

将来的に、HBO技師認定制度のあり方としてキャリアアップ制度について提言した。風前の灯と揶揄されるHBO業界であるが、設置台数の減少、卒前・卒後教育の問題など様々な問題に対し、2024年度4月学会統合の話題を明るい題材として魅力ある認定制度を期待する。